

# 【継続】園芸大国やまがた推進事業費

## 概要

競争力の高い「園芸大国やまがた」の実現に向け、農地集約と先端技術の活用により、大口取引にも対応できる生産性と収益性の高い大規模園芸団地の形成を支援

予算額(当初):211,186千円

事業期間:平成29年度～令和2年度

## 背景/課題

### ■現状・課題

○生産圃場が点在し、生産規模が小さい品目も多いことから、水田をフル活用し、生産性や収益性の高い野菜等の大規模園芸団地を形成していく必要がある。

### ■対応

○生産者・農地・品目等の合意形成により大口取引にも対応力のある団地化を推進

#### 【団地化のメリット】

- ・効率性の高い機械化省力体系の導入による規模拡大が図られる。
- ・団地内で生産者の交流等により、生産技術の定着や改善が図られる。
- ・栽培方法の統一等で定時・定量・定品質の出荷により、市場評価の向上と大きなロットによる量販店等との直接取引が可能となる。
- ・農協等がリース農場を整備することにより、意欲ある生産者にハウスが円滑に継承される。

○少ない人手で、誰でも高い収量と品質が得られる最先端の技術を実証・普及

## 事業内容

### ① 園芸大規模集積団地整備支援事業

【事業費:204,205千円】

国庫補助と県単補助を組み合わせた施設・機械整備等へのきめ細やかな支援により、大規模な団地化を促進

【団地要件】1団地当たりの販売金額目標は1億円以上(4年後)  
【補助要件】

- ・生産コストの10%以上の削減
- ・販売額または所得額の10%以上の増加
- ・契約栽培の10%以上増加かつ50%以上

【補助率】7/10以内(国・県6/10、市町村1/10)

### ② 大規模園芸団地づくりの合意形成支援

【事業費:2,357千円】

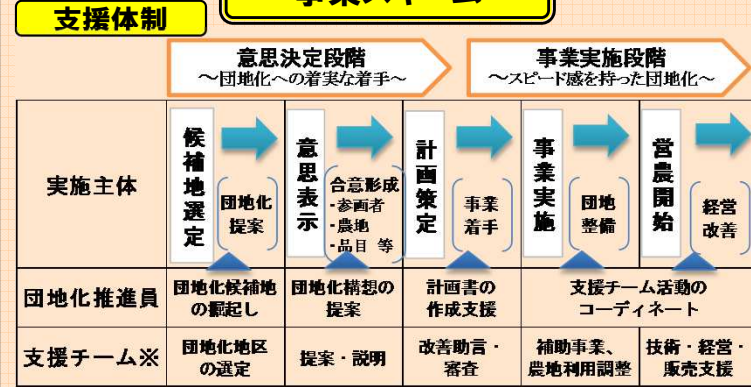
園芸団地化推進員の配置とともに、市町村・JA・土地改良区・県等で構成する支援チームを設置し、大規模な団地づくりの合意形成から生産実施まで総合的に支援

### ③ 山形に適応した次世代型施設園芸の実証

【事業費:4,624千円】

環境制御装置等を備えた次世代型ハウスによるトマトの周年栽培技術の実証

## 事業スキーム



※JA、市町村、農業委員会、やまがた農業支援センター、土地改良区、県(農業振興課、農業技術普及課、農村計画課等)など

### 整備に着手した団地

平成29年度	平成30年度	令和元年度
山形市南石関(セルリー)	山形市本沢(シャインマスカット)	山形市大郷(もも)
山形市中沼(きゅうり)	東根市高崎・東根(啓翁桜)	真室川町新町(さといも)
西川町吉川(啓翁桜)	村山市拝見(すいか)	飯豊町添川(アスパラガス)
真室川町及位(ブロッコリー)	尾花沢市荻袋(すいか)	鶴岡市下山添(きゅうり)
白鷹町鮎貝・蚕桑(えだまめ)	真室川町平岡(にら)	
酒田市黒森(ゆり・カレー)	川西町吉島(えだまめ)	

## 事業目標

新たな大規模園芸団地(販売金額1億円以上)の形成 令和2年度まで20か所(5か所/年)

## 問い合わせ先

- 担当課:園芸農業推進課園芸団地推進担当
- 電話:023-630-2466